

# 岳南会ニュース

## 第20号

発行  
平成22年1月1日  
長野県野沢北高等学校  
TEL 0267 (62) 0020  
岳南会  
TEL・FAX 0267 (63) 6664  
印刷 株式会社久印刷所



### 押し寄せる少子化の波

岳南会会長

沼田 秀人 (46回)



頌 春  
平日頃、母校に対する御協力、特に変わらない自主協賛金の御支援に、心から感謝申し上げます。



### 「忍苦の時代」

学校長

高見澤 正彦

#### 謹賀新年

同窓生の皆様から母校への温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

経済不況は地方の末端まで染み渡り、学生の進路にも大きな影を及ぼしています。若者の就職活動は困難を極め、或いは、

此の様に、岳南ニュースを、全国の会員に、お届けする事ができます。

さて、昨年度に於ける最大の課題は、県教委よりの、佐久市街高校、白高、南高、北高、岩高、北農の五高の内、一高校削減案の、呈示でありました。十六回に亘る、各校代表の討議により、御高承の如き結果となり、母校が単独にて、残留する事になりまして、一安心致しました。少子化に対して、今後、中高一貫教育等、対応研究課題が、山積しております。対比として、岳南会関係の団体が、役員等の高齢化により、解散する所もあり、残念と共に、一沫の淋しさを、痛感しております。

又、昨今の社会情勢の中、県警本部より、県下高校同窓会に対し、名簿を利用して、振り込保護者の進学相談においても今後の学費や生活費に関する相談が例年になく多く寄せられる現況です。

こうした中で、受験を目前に控えた本校生は、最後の仕上げに本気で取組んでいます。厳しい状況を十分腹に据え、より深く、高い能力の獲得と、自立した社会人となるために上級学校進学を目指しています。

「厳冬地下に忍苦の清節あって、春はじめて繚乱の花は咲く」のように、「飽食暖衣」から身を投げ出して、謙虚に隅々まで目を凝らし、真理を見抜く心の目を持つ器量・気鋭を秘めた若者

め詐欺に、悪用されるケースが多発し、注意の喚起を要請されました。御注意を願います。政治、経済、文化等、極めて流動的であり、心して対処したいと思っております。年頭のご挨拶と致します。

### 総会のご案内

平成22年度  
期日 一月五日(火)  
場所 佐久市中込  
佐久グランドホテル2階  
開会(午後一時)  
会長・学校長挨拶  
議事 会務・会計報告等  
○記念講演会  
小泉修一氏(78回卒)  
「脳科学研究のコペルニクスの転回」  
○プラスハンド演奏(三時)  
野沢北高校吹奏楽班  
○懇親会(四時三十分)  
懇親会費 五〇〇〇円

に成長してほしいと願うものがあります。

野沢北高校として、「教養知識の祖述だけでなく、慈愛の心や自立協同の心を持った人間を育てる」という大道に立った教育実践」を折々に検証しながら教育活動にあたって参りたいと思っております。

不況、少子化など課題多い環境の下、百十年に及ぶ北高の伝統を胸に、新しい教育システムの研究と魅力ある学校づくりに精進いたす所存であります。同窓生各位の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

# 平成二十一年度総会のご報告

役員改選により次の方々へ決定。

- 会長 沼田 秀人(46回)留任
- 副会長 伴野慎一郎(45回)留任
- 高見澤俊雄(51回)再任
- 岩間 辰志(54回)新任
- 小宮山みよ子(60回)新任
- 高見澤正彦(学校長)再任



中央が藤井高子さん

記念行事は趣を変え、新春コンサートと銘打ち、藤井高子さん(73回・ソプラノ)、東福寺智恵子さん(ピアノ)お二人による演奏。参加者一同美しい調べにしばし時を忘れて酔いしれた。総会参加者が一五三と増加したのもお二人の力と話す人もおられた。



## 岳南ネット

## トワーク

岳南会の皆様、こんにちは。私は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士候補者、油井亀美也です。候補者に選ばれた際には、さまざまな方から激励のお言葉をいただき大変感謝しております。この場を借りまして一言お礼申し上げます。

本日は、岳南会報の紙面をお借りしまして、私の近況報告をさせていただきますと思います。私は二月二十五日に宇宙飛行士候補者として選抜された後、三月三十一日に自衛隊を退職し四月一日よりJAXAで宇宙飛行士になるための訓練を行ってまいりました。八月上旬までつくばにおいて、宇宙開発関連の基礎知識、英語や体力錬成などを重点に訓練を行い、現在はアメリカ航空宇宙局(NASA)において、引き続き訓練を行っています。NASAでの宇宙飛行士候補者訓練では、アメリカの候補者九名、カナダの候補者二名、日本の大西さん、金井さんとともに訓練を行っています。訓練の内容は、多岐にわたり、これまでのところ、ロボットアームの操作訓練のほか、荒地でのサバイバル訓練を実施しました。サバイバル訓練では、米海軍のサバイバル学校において、応急手当や野営の仕方などの講義を受けた後、実際に野

営を行いました。これまで、自衛隊で同様の訓練を行っていましたが、英語で講義を受け、英語で話しながらクラスメートと共同作業を行うのは予想以上に難しく、多少戸惑うところもありました。しかしながら、米国のカナダの仲間と協力しながら、訓練を乗り切ることが出来ました。多少の困難はありますが、これらを一緒に乗り越えることで、クラスにも一体感が生まれてきたように思います。今後、クラスの仲間を大事にしながら、さまざまな訓練を乗り越えていきたいと思っております。

次に、これまで私が訓練を行ってきた上での感想などについて述べさせていただきます。

環境下で訓練を行っています。これらは、国民の皆さまをはじめ多くの方のサポートがあつて可能となるものです。私をサポートしてくださる皆様方に恩返しができるように立派な宇宙飛行士になりたいと思います。宇宙開発は、多額の費用がかかるものですが、私は、これらの費用は「未来への投資」であると考えています。宇宙開発関連の技術は、技術の最先端であり、一つの技術は、将来の豊かで安全な生活につながっています。たとえば、国際宇宙ステーションでの長期滞在を可能にする



左より高見澤校長、油井亀美也氏、藤原村長

るためには、少ない資源を有効に活用する必要があります。様々なサイクル技術や省エネ技術が開発・使用されています。これらの技術は、我々が地球上で地球環境に配慮しながら生活を行う技術と共通です。水のリサイクル技術などのように災害発生時に役立つ技術も多く含まれています。また、国際宇宙ステーションで実施されている実験や観測、また人工衛星などによって得られる成果は、人類の発展を支えるものあり、私たちの子供や孫の世代に役立つ技術です。今年、若田宇宙飛行士による日本人初の国際宇宙ステーション長期滞在、「きぼう」日本実験棟の完成、H-II Bロケットによる宇宙ステーション補給機(HTV)の打ち上げ成功等、日本の高い宇宙開発技術を証明する出来事が多くありました。私も、このような素晴らしい成果を継承・発展させ、未来の豊かな生活に貢献できるように努力します。精一杯頑張りますので、皆様もお体に気をつけて、それぞれの目標に向かって頑張ってください。

(油井亀美也 84回卒)



# 支部だより

## 小諸支部だより

支部総会、和気あいあいと

恒例の小諸支部総会が去る七月四日に御来賓として本会の高見澤副会長（会長代理）はじめ高見澤学校長、新海事務局長のお三方をお迎えし、老いも若きも和気あいあい、無礼講のうち盛大(?)に行われました。

現在約一四〇〇名位(推定)の会員がいる中で、集まるのは例年役員十名の二〇名前後と全員の二%にも及ばないことが多いが、学生時代の想い出話等々に時の経つのも忘れる和やかな会です。以前のように年配の方ばかりでなく近年は若い会員も何人か。加えて大変有り難いことに毎年本会の会長、学校長、事務局長のお三方がご臨席下さることで、先輩支部長各位が培われて来られた小諸支部の「良き伝統」故と、先輩支部長の



他役員 諸氏に 感謝致 し、関係御来賓のご配意にも感謝の念で いっぱい です。 今後は 副会長

さん方も如何ですか。小諸支部ここにあり、がんばります。どうぞよろしく。

支部長 佐藤隆俊 (56回卒)

## 関西支部開催報告

関西支部は支部として母校から少し遠隔の地に存在します。一昨年の役員改選で、加藤晴三前会長から、関口哲生(英人)氏が会長職を引き継ぎました。

会員は三〇〇名を数えますが、若い層の多忙もあつてか総会出席者が三〇名を超えることが難しい状況です。

平成十八年に南高関西OB会が関西懇親会として発足したのを期に懇親会を合同で開催する粋な計らいになりました。

平成二十一年度総会は、二月二十一日(土)大阪弥生会館で、本部事務局から新海正博先生を迎えて、生徒活動・進学状況並びに伝統ある母校の再編問題等の説明報告をいただきました。

新たな試みとして、同窓の講師から話を聴いて学ぶ新しいことを企画しました。今回は京都大学名誉教授・藍野大学再生医療研究所長の井出千束氏(S35年卒)に永年の研究テーマとされている「再生医療の現状を考える」と題して、同氏等の研究が基になって日本で初めて臨床応用に至った、脊椎損傷患者に対する骨髄間質細胞の移植による治療の現状について、講演していただき、一同感銘を深くしました。



懇親会では皆さんに近況報告で「今、生きる知恵を」を話していただきました。小林憲三氏(S11年卒)の卒寿を迎えた健康の秘訣：遺跡巡り。小林養三氏(S17年卒)の表装同好会。内藤茂美氏(S27年卒)の鈴蘭会・知江夫人同伴、兄弟3人北高、姉妹3人南高。和の心・禅の心と剣道。佐藤宗男氏(S30年卒)の51岳南会の世界遺産高野山・熊野三山・古道を巡る旅。荻原邦夫氏(S35年卒)の大阪府のコンテストで金賞を受賞したガーデンング。等々第一戦から退いても尚活躍されている話を聴き、お互い刺激を合いました。

次年度は若手同窓生からも講師に登場願ひ、会員の交流で益々の盛会を目指していきます。

## 故伴野副会長を偲んで

岳南会長 沼田 秀人

昨年二月、正に青天の霹靂、伴野副会長が突然逝去され、愕然と致しました。

私も同病棟に、入院しておりましたので、本当にショックでありました。連日、岳南会の将来展望等、語り合っていたのです。

私の片腕であり、体格も酒量も、私の倍以上、頭も冴え、発言にも蘊蓄があり、尊敬と共に頼りにしておりました。

あの微笑んだ遺影が、常に心に去来しています。江國氏の「おい、癌め、共に飲もうぜ、秋の酒」と二人で笑ったのが、今更の如く、思い出されます。出来の良、偉いやつ程、短命なのか。天命をさみじくと感じています。

偉兄、伴野副会長の冥福を祈り、偲ぶ言葉とさせて頂きます。伴野氏よ!!!

岳南会を見守って下さい。合掌



左より二人目が伴野氏

## 伴野慎一郎兄追悼句(二句)

円盤投げを一世御被として生きし  
お田植祭済ませ高天原に座す  
(新海三社神社のお田植祭)  
福島米雄(旧姓茂原)

## 宮澤先生、お赦しを

岳南みずゞ会会長 田中 英史

宮澤康造先生は岳南みずゞ会の権化のような方であった。一九五九(昭和三四)年創立の計画時から推進役のおひとりであり、一九九五―二〇〇一年第五代会長を務められたので、その間は言うにおよばず、その後も名誉会長および顧問として、急逝されるまで会を強力に引っ張ってくださった。特に現在まで二十六号を重ねている会報『岳南みずゞ』の編集・制作はほぼ先生おひとりにおんぶする形が最後まで続いた。



講演会での宮澤康造氏

こうして先生を失って、実は岳南みずゞ会は解散せざるを得なくなつた。二〇〇九年一〇月の総会でそう決めたところである。社会情勢の変化にもよることとはいえ、あとに続くわれわれのふがいなきを、宮澤先生には伏してお赦し願う以外にない。

『全校合唱』

第九 事始め

顧問 原 博道

当時小生は文化祭(日輪祭)に少々の疑問を持っていた。そこで学校全体で取り組める文化の香りのする物は? 人間皆兄弟の言葉、第九だ!! この曲を全て生徒の手で出来たらずばらしい、と考えた。吹奏楽班の生徒に楽譜を見せ、音楽班の生徒達もソリストと云う手で巻き込んで一次作戦終了。それからが大変、次は音楽選択者に教え共感してもらおう。職員会で許可を得、その後芸術科で賛同を得て何時間かを音楽で使わせていただき、二次作戦終了。これでも絶対時間が足りず、各HRで練習してもらおうと思ったら楽器不足で岳南会にお願いしオルガンを各組分用意して頂き一件落着、その時一番思った事はこれだけ他人に迷惑をかけているから失敗は出来ない...。当時の職員の間にはゆとりがあった様に思う。一介の教員が起す行動を暖かく見守ってくれた大感謝である。こんな事もあった。新任の先生で自分も参加協力をしたいが自分の勉強もあるので演奏で協力します。と云う事で空を見つけて校庭で楽器を練習していた先生。印刷室で楽譜の印刷を手伝ってくれ

た先生、自分のカリキュラムが狂いっぱなし芸術科の二人の先生、挙げればきりがないので...。当時の先生方に改めて感謝、感謝。

舞台裏の話、能力に乏しい自分が弦楽器のパートを管楽器へ移す事は大変だった。弦と管ではアーティキレーションが違うからだ。吹奏楽班員にはレコードを何度も聞かせ弦と管の違いを認識させた様に思う。一回目の全校練習の時は生徒諸君も半信半疑で出席率も生徒数の八割位だった。二回目の練習では九割位に三回目はほぼ100%の生徒が練習に出席していたと感じられた。その時思った事はこれで自分が振り回さなければ絶対に成功すると確信した。本番当日、合唱コンクールも終り休憩後第九の形態を作るのも早く歌える形になった少々びつくり。吹奏班員の顔が真剣と云うより緊張、又々びつくり。

今となつては素晴らしい北校生徒との出会いだ。色々な事を教えてもらった十八年間だった。第九を歌った生徒諸君で岳南会に携わる人もいる事だろう。音楽は第九が全てではない。素晴らしい音楽は沢山ある。その沢山ある音楽の中から自分に何が必要なのを感じとつ



第1回第九全校合唱 指揮者は原 博道先生

てもらえたら嬉しいかぎりである。

そして最後にあの時分本当に自由に教壇に立たせてくれた先輩諸氏、同僚、生徒諸君、父母の皆様へ感謝し学校長だった、田中啓介先生の言葉で終わります。  
原ちゃん第九でいいな!!

「第九・全校合唱」事始め、そしていま

昭和六十三年(一九八八)の日輪祭は歴史に残る画期的なものとなった。最終日の合唱コンクールの形が大きく変わったからである。前半を自由曲のみのクラス対抗とし、後半は吹奏楽

班の演奏に合わせて、ベートーヴェン「交響曲第九番」の第四楽章を全校生徒で合唱することにしたのである。六十人編成のブラスバンドの演奏に九百人の全校生徒の四部合唱が加わり、六人のソリストとともに小体育館を圧する歌声を響かせた。この初めての試みを聴こうと保護者もギャラリイにつめかけた。すばらしい演奏と迫力ある歌声に圧倒され、生徒、職員、保護者一同深い感動に浸った三〇分間。終了後指揮した芸術科音楽担当の原博道教諭とソリストに花束が贈られ、大きな拍手のうちに吹奏楽班員の手で指揮者が二度、三度と宙に舞った。

日輪祭に欠かせない恒例行事となった第九・全校合唱は、ドイツ語の原語で歌うことに抵抗があったり、全校で歌う足並みの揃え方の難しさにぶつかったり、さらに、回を重ねるにつれ生徒の取り組みに意欲の薄れがみられ、クラスでの練習、全校合同練習への集中度が欠けてきたりもした。憂慮した生徒会では生徒総会の議題に取り上げ熱心な討論を行った。こうした討論は七年四月、八年三月と二年連続して行われたが、その都度「今年もやろう、第九の灯を消すな」という結論になった。こうして第九・全校合唱は不死鳥のようによみがえり、伝統の灯は消えることがなかったのである。

百年誌第七章

平成期の野沢北高等学校より

歓喜の歌

生徒会長 土屋 大輔

音楽を瞳に映すことはできない。しかし、この野沢北高校に受け継がれている第九合唱はしつかり私の瞳に焼きついて

それは伝統。誇りであって未来にも連続と続いていくべきもの。この第九合唱はただの歌ではない。その合唱によって私たち北高生は普段とは違う空気の中、一体となつて一つの伝統をつくりだす。

二百年も前、遠くヨーロッパで生まれた歓喜の歌は世界中で歌われ、世界の人々はつなげられている。そして私たちもその中に加わっている。

もはやその歓喜は私たちだけのものではない。私。私たち。聴きに来て下さる地域の方々。...世界。

その歓喜に臨むには強い使命感が必要だ。私たちの歓喜をつながっている世界に発信する。やはりそれ自体は目に見えないかもしれないが、それは輝く。



そう信じて、否、そうするために、私たちは伝統に臨みたい。

◇東京岳南会 第49回総会ご案内◇

日時 2010年6月5日(土)  
午後2時～

会場 健保会館 (はーといん乃木坂)  
TEL 03-3403-0531

第1部 2時～総会・ミニ講演会  
第2部 3時～5時 懇親会

会費 7000円 (懇親会・通信費等)  
学生 2000円  
新会員 (当年卒業生) ご招待

当番幹事 72回 (昭和51年卒)  
82回 (昭和61年卒)  
92回 (平成8年卒)  
102回 (平成18年卒)

連絡先 白鳥伍朗幹事長 03-3503-0058  
090-8818-5826



19号掲示板で、「あの頃の思い出」の記述にもある第1回日輪祭のシンボルタワーの写真についてお願いしたところ、市川正人氏（65回卒）より、お送りいただきました。今回弁論大会の写真と合わせて、掲さいさせていただきました。ありがとうございました。

柳田清二氏  
佐久市長に初当選



平成21年4月に行なわれた佐久市長選挙で、柳田清二氏（85回卒）が新市長に当選しました。5期20年続いた三浦大介（40回卒）前市長の勇退によるもので、10万都市となった新制佐久市の舵取りを担います。座右の名は「和而不同」（佐久市HPより）とのこと。ご活躍を期待します。

「中高一貫教育」研究委」発足

昨年八月の第二回代議員会にて標記研究委の設置が承認され、十一月四日、第一回会議を開催。沼田会長より委員五名（左掲）の委嘱が行なわれ、互選により役割分担も確認された。

- 委員長 高見澤俊雄 (51回)
- 委員 小宮山みよ子 (60回)
- 委員 井出 亮 (57回)
- 委員 神津 浩一 (60回)
- 委員 柳澤 重也 (60回)

ここで、委員会設置の経緯について触れておきたい。

まず、神祕無限の佐久の造化の中で、母校生徒諸君が学業と班活動を充実させ、自己実現に向けて精進している姿は、不易なるものとして、多としたい。と同時に、時代の変化への配意も肝要で、国は、教育の量的拡大より質的充実への転換を求めて、個々の生徒の能力・適性に敵った教育の展開に向け、中高一貫教育を提言、平成十年には、学校教育法を改正した。

これを受けて、平成十二年、県教委も、中高一貫教育導入を公表、紆余曲折の末、昨年六月、屋代高校への導入を決定した。他方、佐久地域の急激な高校生減少への対応をした「佐久市の中等教育を考える会」（新津真澄会長）は、その提言の中で、野沢北高への中高一貫教育導入を学校と同窓会に求めている。かくて、本会も、母校将来構想委員会と連携し、研究の緒に就くこととなった次第である。

《篤志寄付》

- 井出豊一氏 (40後) (金一万円)
- 篠原次男氏 (51)
- 〔絵画〕千鳥ヶ淵の春 (ギイ・デサップ《仏》作)
- 小須田秀俊氏 (73)
- 〔研究報告集〕保健師の歴史研究No.6 (小宮山新一氏)
- 《17回卒、元川崎市保健所長》の戦前・戦後の地域保健活動を検証した論文『小宮山新一年譜と業績リストの作成について』執筆、掲載誌)
- 市川正人氏 (65)
- 〔CDR〕第1回日輪祭スナック (シンボルタワーほか)
- 由井正子氏
- 〔由井俊三氏《42回》ご令室〕〔紡錘虫化石等標本類、地質(鉱物・鉱床) 学関連書籍等〕〔俊三氏は03年9月田口峠付近で地質調査中、行方不明になり現在にいたる。〕
- 岡部博之氏 (学習院大名誉教授)
- 〔資料④〕「櫻井院長の旧制松本高校山岳部時代」(同氏執筆、佐久市教委経由)
- \*タイトルの「櫻井院長」は、故櫻井和司氏 (元学習院長、15回卒)
- 卒業50周年祝賀会 (55回) (金28万円)
- 羽田 威氏 (92)
- 〔ハタにゆうす第6号〕
- 吉田茂男氏 (60)
- 〔08年岳南会総会・由井正臣氏記念講演録音CD〕



- 飯島勝彦氏 (53)
- 〔著書〕「冬の風鈴 (郷土出版社) (井出孫六氏 (47) 推薦)
- 岩間辰志氏 (54)
- 〔都立青山高校、武蔵大・武蔵高校中学校校案内等中高一貫校資料〕
- 卒業50周年記念代表依田方伯氏・宮島正義氏 (金28万円)

厚く御礼申し上げます。  
岳南会

事務局日記

十一月某日、「警察から電話です」の声にあわてて受話器をとる。悪い想像が頭に浮かぶ。「佐久署S課の〇〇です。最近県内で同窓会名簿を悪用した不審電話が相次いでいます。注意喚起の電話であった。十一月三日付地元紙によると、九月以降近くの某高で四十二件(被害三件)、松本某高では八十二件(同三件)等々、長野県下各地で不審電話や振り込め詐欺が多発しているようだ。岳南会員の皆様、くれぐれもご用心を。

平成21年 岳南会会務報告

- 1.5 岳南会総会 153名(懇親会141名)、新春コンサート(藤井高子さん・東福寺智恵子さん)、
- 1.24 中込支部総会(支部長 ㊦木内博一氏市川賢治氏(退任)27名(会長・学校長・事務局上原出席)
- 2.21 関西岳南会総会(支部長 関口哲生氏)30名(関西鈴蘭会と共同開催、事務局新海出席)
- 中込中央区支部総会(支部長 ㊦青森英治氏 並木暢二郎氏(退任)20名 臼田支部総会(支部長 油井英次氏)20名(高見澤副会長・同窓職員 臼田先生出席)
- 3.22 小海支部総会(支部長 羽毛田湊人氏)18名(会長・事務局新海出席)
- 4.24 佐久町支部総会(支部長 ㊦友野政幸氏 高見澤俊雄氏(退任)28名(事務局新海出席)
- 5.26 岳南会所有林視察・第1回三役会

- 5.26 前山支部総会(支部長 荻原明雄氏)23名(同窓職員 野村先生出席)
- 5.30 御代田支部総会(支部長 柳澤嘉勝氏)16名(事務局新海出席)
- 6.6 東京岳南会総会、於 はーといん乃木坂(東京岳南会会長 岩間辰志氏)100名(油井亀美也氏スピーチ、会長・学校長、林先生(20年度卒業学年代表)、事務局新海出席)
- 6.13 東支部総会(支部長 原 芳徳氏)11名(事務局原出席)
- 6.13 桜井支部総会(支部長 桜井昇一氏)30名(事務局新海出席)
- 6.28 岸野支部総会(支部長 ㊦木内信五氏 木内睦雄氏(退任)21名(同窓職員・金子先生出席)
- 7.4 小諸支部総会(支部長 佐藤隆俊氏)19名(高見澤副会長・学校長、事務局新海出席)
- 7.16 軽井沢支部総会(支部長 中嶋忠利氏)20名(事務局新海出席)
- 10.19 第44回岳南みすゞ会総会(会長 田中英史氏)16名(会長・花岡教頭、事務局新海出席)

- 局新海出席)
- 第44回総会、『岳南みすゞ』第27号発行をもって、'10.3.31解散
- 11.22 野沢支部拡大役員会(支部長 小平源三郎氏)8人(同窓職員・中田先生出席)
- 12.2 岳南会会計監査(委員長:竹内 健氏、委員:臼田善和氏、白井正幸氏、会長出席)
- 12.11 第3回三役会(会長、副会長、学校長、教頭、事務長、事務局職員出席)
- 12.18 岳南会ニュース第20号発行

平成22年 会務計画(案)

総会(平成22年1月5日、於 佐久グランドホテル 支部総会 代議員会(1月5日、8月28日) 役員会(3回…6月、8月、12月) 岳南会ニュース第21号発行、協力金依頼(12月下旬) 岳南会所有林視察(6月) 会計監査(12月初旬)

平成21年 岳南会会計決算書

平成20.12.1~21.11.30

収入総額 12,412,793円 支出総額 5,939,409円 差引残高 6,473,384円

【収入の部】

項目	収入決算	備考
繰越金	6,532,732	
入会金	1,476,000	6,000円×246人(入学生)
卒業生終身会費	1,200,000	5,000円×240人(H21年3月卒業生)
総会会費	625,000	5,000円×125人
代議員会等会費	8,000	三役会2,000円×4人
岳南会館維持管理費	577,500	750円×770人
岳南会活動協力金	1,953,450	1,000円(1口)×2,129口、1,753人
雑収入	40,111	預金利子、名簿、百年史、寄付、敷地料等
合計	12,412,793	

以上、相違ありません。  
平成21年12月1日  
会計監査 竹内 健 ㊦  
白田善和 ㊦ 白井正幸 ㊦

【支出の部】

項目	支出決算	備考
会報発行費	1,517,573	会報印刷費、封筒、郵送料、会報編集料等
総会費	984,440	会場費、懇親会費、講師謝礼等
会議費	311,245	役員会、代議員会、会計監査等
支部会議費	410,260	祝儀、旅費等
慶弔費	480,253	饗別、弔電、香典、卒業証書筒、校章バッジ、花束代、横断幕代等
財産管理費	63,864	固定資産税、山林管理等
クラブ等後援費	320,100	1,000円×246人(1年生)、全国大会補助、広告料
進路指導補助費	200,000	
岳南塾補助	500,000	
会館維持費	946,114	会館電気料、会館電話料、会館灯油代等
事務費	205,560	会館雑貨、事務用品、ハガキ、封筒、コピー用紙、刻字版用額代、カートリッジ、祝儀袋、郵便振替用紙印刷、封筒印刷、切手等
予備費	0	
合計	5,939,409	

平成22年 岳南会会計予算書(案)

平成21.12.1~22.11.30

収入総額 11,900,000円 支出総額 11,900,000円 差引残高 0円

【収入の部】

項目	予算額	備考
繰越金	6,473,384	
入会金	1,440,000	6,000円×240人(入学生)
卒業生終身会費	1,200,000	5,000円×240人(11月現在、卒業見込み生)
総会会費	600,000	5,000円×120人
代議員会等会費	60,000	2,000円×30人
岳南会館維持管理費	576,750	会館電気料、会館電話料等 750円×769人
岳南会活動協力金	1,500,000	1,000円(1口)×1500口
雑収入	49,866	預金利子、名簿代等
合計	11,900,000	

【支出の部】

項目	予算額	備考
会報発行費	2,000,000	会報印刷費、封筒、郵送料等
総会費	1,000,000	会場費、懇親会費、講師謝礼等
会議金	400,000	役員会、代議員会
支部会議費	500,000	祝儀、旅費等
慶弔費	450,000	饗別、弔電、卒業証書筒、新入生バッチ等
財産管理費	100,000	固定資産税、山林管理等
クラブ等後援費	400,000	1,000円×240人、全国大会補助、広告料等
進路指導補助費	200,000	
岳南塾補助金	500,000	
岳南会館維持管理費	1,000,000	会館電気料、会館電話料、照明ランプ、灯油代等
事務費	200,000	会館雑貨、事務用品、切手、カートリッジ等
予備費	5,150,000	岳南会活動補助等、岳南会所有林名義変更費用等
合計	11,900,000	

創立百周年記念事業特別会計 決算書

平成20.12.1~21.11.30

1. 総括 収入額 16,389,691円  
支出額 0円  
差引残高 16,389,691円

項目	決算額	備考
繰入金	16,385,220	創立百周年記念事業会計より
雑収入	4,471	預金利子計
合計	16,389,691	次年度へ繰り越し

項目	決算額	備考
	0	
合計	0	

以上、相違ありません。平成21年12月2日 会計監査 竹内 健 ㊦ 白田善和 ㊦ 白井正幸 ㊦

# 母校近況



## クラブ活動報告

### 運動班

- 野球
  - 春の大会 対上田染谷5-6
  - 夏の大会 1回戦豊科4-3
  - 2回戦飯田1-3
- 秋の大会
  - 2回戦望月21-0 (5回コールド)
  - 準々決勝上田東6-5 (延長12回)
  - 準決勝丸子修学館5-6 (延長11回)
  - 3位決定戦上田西4-5 (延長11回)
  - 県大会長野6-7
- 空手
  - 東信大会
  - 男子個人形田中8位県大会出場
- 東信新人
- 男子組 田中、山浦 県大会出場
- 柔道
  - 女子48kg級錦織 東信大会出場
- 男子バスケット
  - 東信大会 7位 県大会出場
  - 東信新人 上田東62-69
  - ウインターカップ東信大会
  - ベスト8
- 女子バスケット
  - 東信大会3位 県大会出場
  - 選抜優勝大会(東信)
  - 3位 県大会出場
- 東信新人 3位 県大会出場



陸上班東信大会400mリレー3走五十嵐からアンカー斉藤へ

- 男子ハンドボール
  - 東信大会 3位 県準々決勝
  - 東信新人 3位 県準々決勝へ
- 女子ハンドボール
  - 東信大会 2位
  - 県大会17-20茅野準々決勝
  - 東信新人 2位
  - 県新人3位、北信越大会へ
- 男子バレーボール
  - 東信大会6位 県大会出場
  - 国体予選出場
- 女子バレーボール
  - 東信新人 6位
  - 陸上
- 陸上
  - 東信大会 総合2位
  - 県大会
  - 五十嵐 1100m2位、走高跳2位
  - 箕輪 三段跳7位
  - 北信越大会出場
  - 東信新人
  - 箕輪 三段跳2位
  - 北信越新人出場
  - 県高校駅伝
  - 2時間34分44秒14位、
  - 県縦駅伝里見出場区間4位
- サッカー
  - 東信大会

- 決勝1-4上田西2位 県大会出場
- 東信新人2回戦0-2上田
- スケート(ショートトラック)
  - 全日本Jr
  - 菊池総合3位 世界Jr出場(台湾)
  - 東日本ショートトラック
  - 総合5位
  - 国体県予選
  - 1500、500、1000、3000
  - 1位 国体出場へ(北海道)
- 剣道
  - 東信大会予選リーグ 5位
  - 東信新人 団体7位 県大会出場
  - 男子ソフトテニス
    - 東信大会
    - 団体8位県大会出場
    - 東信新人
    - 団体8位県大会2回戦まで
    - 個人2ペア県大会出場
    - 一年生大会
    - 新海・大工原ペア3位
  - 女子ソフトテニス
    - 東信大会団体8位県大会出場
    - 東信新人
    - 中島・生治ペア
    - ベスト16県大会出場
    - 佐々木・市川
    - 選抜大会東信予選
    - 個人 中島・生治ペアベスト16
  - 弓道
    - 東信大会 男子個人塩川大暉1位
    - 東信新人
    - 女子団体入賞 県大会出場
    - 男子テニス
      - 東信大会団体0-3上田西
      - 東信新人団体3位県大会出場
      - 秋季選手権東信予選
      - A級シングルス島山・大塚優勝
      - B級近藤1位、村松2位

- 同県大会村松8位
- 女子テニス
  - 東信新人リーグ戦 5位
  - 秋季選手権
  - シングルス木下 県大会出場
- 水泳
  - 東信大会
  - 男子総合6位、女子総合4位
  - 県高校大会 男女11種目に出場
  - 400mリレー12位
  - 県新人 男女10種目に出場
  - 400mリレー11位
- バドミントン
  - 東信大会
  - 女子個人丸山ベスト8
  - 県大会出場
  - 東信新人
  - 男子個人保坂ベスト8
  - 女子個人櫻井ベスト8
  - ダブルス櫻井・丸山2位
  - 県大会へ
  - 国体東信予選
  - 女子ダブルス櫻井、丸山ベスト8
  - ジュニアバドミントン選手権東信
  - 女子ダブルス並木・内藤ベスト4
- 卓球
  - 東信大会男子ベスト4
  - 女子優勝 県大会出場
  - 東信新人男子2位
  - 女子優勝 県大会出場
  - 北信越新人シングルス市川出場

## 文化班

- 英語班
  - 東信英語デベート大会3位
  - 県大会出場
- 将棋班
  - 県将棋選手権大会
  - 男子団体準優勝
  - 女子個人鷹野優勝
- 技研
  - 日輪祭にて、熱気球の実験
- 全国大会女子個人ベスト16
- 県新人女子 個人田中準優勝
- 演劇班
  - 東信演劇合同発表会
  - 「天より高く」出場
- 音楽班
  - 東信高校音楽会参加
  - 全国総文祭(合唱部門) 参加
  - 県総文祭参加
- 美術
  - 県高校美術展4名出品
  - 佐久平美術展須田、小林瑞
  - 信州版画県展5名入選
  - 岡部めぐみ新人賞
  - 長野県美術展鈴木咲穂入選
  - 軽音
  - 県大会5バンド出場
  - 準最優秀賞、審査員特別賞受賞
  - 県総文祭出場
- 写真
  - 文化祭では春夏の撮影会の写真の発表展示
- 地学
  - 6月・11月八ヶ岳東麓地層の調査、化石採集、日輪祭展示発表
- 理化
  - 日輪祭で科学実験の演示科学工作の展示
- 吹奏
  - 中日吹奏楽コンクール県大会出場
  - 東信アンサンブルコンテスト参加
  - 交響曲「ガイヤ」銀賞、「ペドロの奇跡」銀賞
  - 88回、89回定期演奏会
  - 日輪祭第九演奏
  - 東信リーダーズバンド5名合格
  - 中日重奏コンテスト参加
  - 県吹奏楽フェスティバル参加

# 進路指導室の窓から

平成二十一年三月の、本校における大学等への合格者数は表の通りです。

センター試験の難化が響き、国立大学の現役合格者数の割合は昨年比べやや減り、国立大学への進学者の割合は約三割五分でした。しかし難関国立大学合格者は増え、国立医学科合格者も現浪併せて七名とここ

五年間では最大でした。浪人生も約三割と増えましたが、いずれも高い目標を持ち捲土重来を期しています。

## ◎大学の現状

少子化に伴う受験人口減少の中、大学は大幅な入試改革や学内組織改革を進めて来ました。国立大学では、前期日程後期日程と人数を二つに分けて募集していた形態から、後期日程を縮小廃止し、前期日程のみの募

集、あるいは推薦入試・AO入試と前期日程のみの募集というように、早期に優秀な学生を確保しようとする入試制度変更をする大学が、特に難関大学を中心に多く見られます。

この春の私立大学入試では、難関大学の受験者数は減ったものの、中堅大学の受験者数が増え、人気の都市部大規模校と、志望者減少の地方中・小規模校という二極化は進んでいます。

## ◎目標に向かって

本校では、低学年次より職業・大学調べを行いオープンキャンパスにも積極的に参加しています。また、ディベート指導や一人一課題研究等を通して、自分の興味有る分野の自覚と、研究・まとめ・文章化・発表・コミュニケーション等の能力の向上に努めています。

日々の学習活動の中から、自分の目標を明確にし、その達成に向けての学習及び高校生活が

## 編集後記

ようやく「岳南会ニュース第20号」の発行までこぎつける事ができた。

ご寄稿いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。今号では、第九が始まった頃について特集を組んだが、今では伝統の行事になつている第九も、当時の大変さを知ることができ、思いを新たにすることができた。現生徒会長の意気込みも聞け頼もしい限りである。

さて、本年は新型インフルエンザの大流行が真夏の八月から発生したり、十一月には砂漠の国サウジアラビア紅海沿岸で洪水が発生するなど、異常気象が今年も世界を驚かせている。校内に目を転じると、いつもと変わらぬ三年生はいよいよこれから受験シーズンに入る。こちらは、毎年変わらない光景である。心よりエールを送りたい。

今後の特集記事について、要望をいただければ幸いです。

# 大学合格状況 (2009.5.1 現在)

卒業生数	国公立大学	私立大学	外国大学	大学計	国公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
240	96	291	0	387	0	3	3	5	395
浪	37	143	0	180	1	0	1	0	181
計	133	434	0	567	1	3	4	5	576

## 国立大学合格者数

大学名	現	浪	計
北海道	1	1	2
東北	5	1	6
山形	1	2	3
茨城	2	1	3
筑波	7	7	14
宇都宮	1	1	2
群馬	6	3	9
埼玉	5	5	10
千葉	5	2	7
電気通信	1	1	2
東京学芸	2	1	3
横浜国立	4	1	5
上越教育	1	1	2
新潟	4	3	7
富山	1	1	2
金沢	2	1	3
山梨	2	4	6
信州	17	3	20
(人文)	3	3	6
(教育)	3	2	5
(経済)	1	1	2
(理)	3	3	6
(医)	1	1	2
(工)	3	3	6
(農)	1	1	2
(繊維)	2	2	4
静岡	1	1	2
名古屋	1	2	3
大阪	1	1	2
鳥取	1	1	2
島根	2	2	4
広島	1	1	2
九州	1	1	2

## 公立大学/準大学合格者数

秋田県立	1	1	2
山形県立保健医療	1	1	2
茨城県立医療	1	1	2
群馬県立女子	1	1	2
群馬県立健康科学	1	1	2
高崎経済	8	2	10
埼玉県立	2	2	4
首都大東京(都立)	2	2	4
新潟県立看護	2	2	4
都留文科大学	3	1	4
静岡県立	1	1	2
愛知県府立	1	1	2
京都市立	1	1	2
大阪府立	1	1	2
防衛医科	1	1	2
防衛医科	1	1	2
国立看護	1	1	2
国公立短大合格者数			
京都市立看護短期大学	1	1	2

## 主な私立大学合格者数

大学名	現	浪	計
明治	20	6	26
日本文学	13	4	17
東京理科大学	10	7	17
中央	10	5	15
東洋	7	7	14
立命館	12	2	14
専修	10	4	14
法政	4	6	10
青山学院	4	6	10
文教	8	2	10
早稲田	4	6	10
東海	9	1	10
駒澤	4	5	9
北里	3	6	9
国際医療福祉	4	3	7
國學院	4	3	7
神奈川	5	1	6
立教	3	3	6
高崎健康福祉	4	2	6
桜美林	6	6	12
東京農業	3	2	5
帝京	4	1	5
慶応義塾	1	4	5
日本女子	2	3	5
千葉工業	5	5	10
実践女子	5	5	10
金沢工業	4	1	5
杏林	2	2	4
芝浦工業	3	1	4
獨協	3	1	4
工学院	4	4	8
東京電機	4	4	8
同志社	1	3	4
白百合	1	3	4
神奈川工科大学	2	2	4
東京薬科	1	3	4
龍谷	4	4	8
帝京	3	3	6
学習院	3	3	6
東京経済	1	2	3
成蹊	3	3	6
上智	2	1	3
玉川	3	3	6
関東学院	2	1	3
佐久	3	3	6
成城	1	2	3
順天堂	3	3	6
東北薬科	1	2	3
関西学院	3	3	6
創価	3	3	6
東京工芸	3	3	6
星薬科	1	2	3
明治学	1	1	2
新潟医療福祉	1	1	2
津田塾	2	2	4
千葉科	1	1	2
東京女子	2	2	4
群馬バース	2	2	4
昭和大	2	2	4
自治医科	1	1	2
獨協医科	1	1	2
明治薬科	1	1	2
横浜薬科	1	1	2
共立女子	1	1	2

駿河台	2	2	4
帝京学院	2	2	4
山梨学院	1	1	2
近畿	2	2	4
愛知学院	1	1	2
神田外語	2	2	4
二松学舎	2	2	4
桐蔭横浜	2	2	4
神戸学院	2	2	4
東京都(武蔵工業)	1	1	2
国士	1	1	2
城西	1	1	2
東洋	1	1	2
大妻女子	1	1	2
京都産	1	1	2
明星	1	1	2
昭和女子	1	1	2
武蔵野	1	1	2
日本福祉	1	1	2
武蔵	1	1	2
文京学院	1	1	2
諏訪東京理	1	1	2
東京家政	1	1	2
東京家政	1	1	2
昭和大	1	1	2
上武	1	1	2
京都外語	1	1	2
金沢医	1	1	2
清泉女学	1	1	2
日本医療科学	1	1	2
新潟薬科	1	1	2
跡見学園女子	1	1	2
国立音楽	1	1	2
駒沢女子	1	1	2
北陸	1	1	2
京都薬科	1	1	2
岐阜聖徳	1	1	2
秀明	1	1	2
埼玉工業	1	1	2
岐阜医療	1	1	2
白百合	1	1	2
東京有明	1	1	2
日本文学	1	1	2
愛知淑徳	1	1	2
関西医療	1	1	2
高崎商	1	1	2
女子栄養	1	1	2
相模	1	1	2
大阪薬科	1	1	2
東京造形	1	1	2
日本造形	1	1	2
日本薬	1	1	2
佛大	1	1	2
京都造形	1	1	2
鶴見	1	1	2
東京慈恵	1	1	2
豊田工	1	1	2
私立短大合格者数			
実践女子短期大学	1	1	2
松本大学松商短期大学	1	1	2
白鳳女子短期大学	1	1	2
専門学校合格者数			
医療系	1	1	2
その他	4	4	8